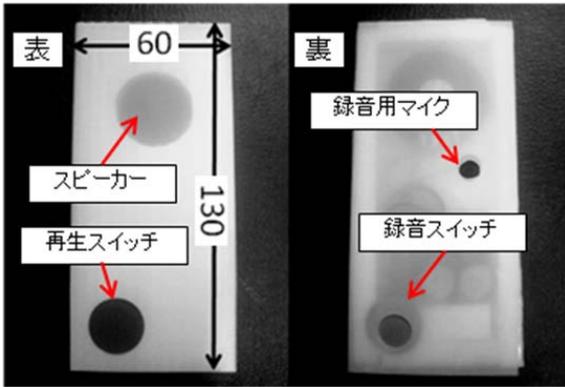


整理番号	HT28024	分野	生活・その他	(キーワード)代替コミュニケーション
------	---------	----	--------	--------------------

## 宮城教育大学

### 音声会話も手話もできない人と話するにはどうしたらいいでしょうか？

先生(代表者)	水谷 好成(みずたに よしなり)教育学部・教授			
自己紹介	大学では中学校の技術科の先生を養成するために電気やコンピュータについて教えています。それ以外に、電子工学やコンピュータの技術を医学や福祉に活かすための色々な研究やロボットと関わる教育に関する研究や教育活動などを行っています。このプログラムは、電気やコンピュータの技術を使って、障がいのある子ども達を助けるための装置(道具)を開発する研究の一つとして行っている内容に関するものです。			
開催日時・ 主な募集対象	平成28年7月31日(日)	(対象)	小学 5・6 年生、中学生	(人数) 25名
集合場所・時間	宮城教育大学 理系第二学生実験室	(集合時間)	9:30~10:00	
開催会場	宮城教育大学 住所: 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 アクセスマップ: 大学まで <a href="http://www.miyakyo-u.ac.jp/about/campus/ct2.html">http://www.miyakyo-u.ac.jp/about/campus/ct2.html</a> 学内マップ <a href="http://www.miyakyo-u.ac.jp/about/campus/index.html">http://www.miyakyo-u.ac.jp/about/campus/index.html</a>			
<b>内 容</b>				
<p>音声を発することができない人でも手話を使うことで意志の交換をすることができることはよく知られています。しかし、手が自由に使えないために手話を利用できない場合はどうしたらよいでしょうか。そのような場合でも、なんらかの意思伝達補助装置を使うことで周囲の人たちとコミュニケーションをすることができますようになります。約束を決めておけば、ブザー音のような合図を使うことで情報を伝えることができます。また、録音(あるいは合成)した音声を出力できる補助装置を使うことでも意志の伝達の可能性が広がります。</p> <p>この教室では、①ブザー音で合図を出す装置、②音声発生補助装置と似た仕組みを持ったメッセージ装置(メッセージカード)、③自分の音声を録音・再生する簡易型のコミュニケーション補助装置を実際に製作します。意思伝達補助装置の必要な理由に関する講義(説明)と自分で製作した装置を使って実際に実習で使って試しながら、補助装置を使った意思伝達の方法について学びます。教室全体を通して、コミュニケーション障がいのある子供達に対する意思伝達補助装置の開発の必要性と特別支援を必要とする人たちと共存する社会のあり方について考えていきます。</p> <p>ものづくりに関する技術は、できないと思っていたことも工夫によってできるようにし、我々の生活を豊かに改善していくために役立っています。新しい物を創り出すものづくりの技術は、自分でも何かをすることができるという自信を育むことができます。ものづくりの楽しさと可能性を楽しみましょう。</p>				
				
簡易型音声発生補助装置 (VOCA)				
スケジュール				持 ち 物
9:30~10:00	受付(理科学学生実験棟2階 理系第二学生実験室集合)			筆記用具
10:00~10:10	開講式(挨拶, 科学研究費の説明, オリエンテーション, 受講者/実施者自己紹介)			
10:10~10:55	講義1「音声を発せず手話もできない人とコミュニケーションすることはできるでしょうか？」(講師: 村上由則)			

10:55～11:05 休憩	<b>特記事項</b> 小学生は保護者同伴とします(複数人の児童について一人の保護者でもかまいません)。参加対象者の昼食は用意しますが、付き添いの保護者の昼食に関しては実費の負担をお願いします。
11:05～11:35 実習1「スイッチ操作で動く簡単な意思伝達装置の製作とそれを使ったコミュニケーションの体験」(講師:水谷好成)	
11:35～11:45 休憩	
11:45～12:15 講義2「YES/NO の合図から音声を代替するコミュニケーション補助装置への発展」(講師:菅井裕行)	
12:15～13:15 昼食(クッキータイム)	
13:15～14:05 実習2「代替音声の発生機能(VOCA)を持った補助装置の製作とそれを使ったコミュニケーションの体験」(講師:水谷好成)	
14:05～14:10 休憩	
14:10～14:30 講義3「代替コミュニケーション補助装置の必要性と可能性」(講師:水谷好成・寺本淳志)	
14:30～14:40 休憩	
14:40～15:10 意見交換(クッキータイム)「代替コミュニケーション補助装置を中心とした技術の活用方法について考える」	
15:10～15:20 休憩(アンケート記入)	
15:20～15:30 閉講式(未来博士号の授与)	
15:30 終了・解散	

### 《お問合せ・お申込先》

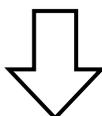
所属・氏名 :	宮城教育大学・水谷好成
住所 :	仙台市青葉区荒巻字青葉149
TEL 番号 :	022-214-3468(水谷) 不在の場合 022-214-3931(研究・連携推進課研究協力係) * TEL では問い合わせのみに対応します。申込みは、E-mail または FAX をご利用下さい。
FAX 番号 :	022-214-3468(水谷)
E-mail :	mizu@staff.miyakyo-u.ac.jp
申込締切日 :	平成28年7月15日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムの参加に関するご案内は、7月19日(火)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

### 《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
水谷好成	平成 18-20年度	基盤研究(C)	18500432	遊びの要素を持った脊髄性筋萎縮小児のコミュニケーション補助システムの開発
水谷好成	平成 24-26年度	挑戦的萌芽研究	24650513	ものづくり教育による震災復興支援



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。